＜先週の説教から＞

『年間聖句・詩編 95―私たちは主の民』

武田真治　牧師

詩 編 ９５：１～１１　マタイ福音書１８：１８～２０

今年度の《教会標語》は「週報」の表紙にあります『礼拝に支えられ, 共に生きよう！』です。このコロナ禍の中で問われて来たのは礼拝のあり方でした。同時にその私たちを繋いでいるものも礼拝であることも再認識できました。この一年も一人ひとりが礼拝によって支えられ、お互いに声を掛け合い、祈り合う仲間として生きたいと願います。

そして《年間聖句》は、詩編 95 篇７節「主はわたしたちの神、わたしたちは主の民、主に養われる群れ、御手の内にある羊。今日こそ、主の声に従わなければならない。」です。この言葉を含む詩編 95 篇は別名『祝祭詩編』と呼ばれ、神殿での祝祭や礼拝に共に出席しようという思いが込められている詩編なのです。毎月末の主日には詩編を読んでいます。少し飛びますが今日は 95 編を読みましょう！

この詩編の最初、１節は実は（レクー）という言葉からは始まります。新共同訳では明確には訳されていませんが前の協会訳ではちゃんと「さあ、我らは拝み、ひれ伏し、我らの造り主、主のみ前にひざまずこう」と最初に訳されています。この言葉は（ハーラーク＝行く）という言葉の複数形の命令で、英語で言えば（レッツゴー）、みんなで神殿へと向かい「喜び歌おう」「感謝をささげ、楽の音に合わせて」（２節）と。まさに《礼拝への招き》なのです。

ただ、もう一つ６節にも複数形の命令で短い言葉が出てきます。これも新共同訳でははっきりとは訳されていませんが（ボウー）という呼びかけの言葉です。これは（ボー＝来る）で、むしろ「みんな来い」という意味です。どこへか？　それが「主の御前に」と。そこで「ひざまずき、共にひれ伏し、伏し拝もう」と。これは単に神殿や礼拝に出席さえすればそれで良いのではなく、ちゃんと神様の御前に出て、ひざを折り、頭を下げてこそ《礼拝》だと、だから主の御前に「来い」と。これは、当時の巡礼さえすれば民としての義務を果したと思っていた人々への問題提起でもあったのです。私たちも礼拝に出席すれば許されると思いがちになります。席に座ってさえいればと。しかし、礼拝とは神様の《御前に出る》ことであり、首を垂れ、一週間の犯してきた自らの罪を悔い改めることこそが中心なのだと改めて教えられます。

８節以下はかつて出エジプトをして荒野を 40 年間彷徨したイスラエルの民のことが悪い例として引用されます。即ち「あなたたちの先祖はわたしを試みた。わたしの業を見ながら、なおわたしを試した」と。彼らは出エジプトという御業を経験していながら、その後はちゃんと救ってくれるのかという疑いの目＝神様を試す目で見ていたと。故に彼らは「約束の地」に入れなかったのでした。

どうでしょう。神様はちゃんと祈りを聞いてくれるのかとか、今日の牧師はいい説教をするだろうかとか、あたかも神様や教会や牧師を目踏みしている（＝試験している）ような態度は、本当に《礼拝する態度》なのかと教えられているように思います。私たちは神様に「養われる群れ」であり、一人ひとりが「御手の内にある羊」として導いて頂いている存在です。故に礼拝に出た「今日」こそ「主の声に」聴き従おうとする思いや姿勢が問われているのです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会Ⅰ．５月　４日（水）20：00
　　Ⅱ．５月　５日（木）10：30

聖　　書：　エゼキエル書
祈祷主題：　母の日礼拝を覚えて
担 当 者：　（水）高橋　　（木）阿部
祈 る 人：　関根さん　曽我さん

【教勢報告】

主日礼拝	男 20	女 55	計 75
祈祷会 Ⅰ.	男 5	女 2	計 7
祈祷会 Ⅱ.	男 4	女 9	計 13
日曜学校	幼稚科 2	小中科 12	計 14

【次週礼拝】　５月　８日（日）

聖　書：　サムエル記上　３：１～１４
　　ヘブライ人への手紙　４：１２～１３
説　教：　「ヘブライ⑬― 神の言葉は生きている！」
　　武田真治 牧師
讃美歌：　２０５(1)、３２、４７０(1と2)、
　　５５(1と2)、８３(1)

【次週当番表】

司式:飯田長老 奏楽:須田 礼拝:茨木長老
献金：小林 佐伯　受付：鈴木　橘本
会堂準備：飯島　岡本　金刺　中村
看板：岩佐　　週報：金刺　　お花：茨木

【次週集会予定】礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会
　　礼拝後：・壮年/婦人/ダビデ 各会

６３－１８

週　報

2022 年度　教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

２０２２年　　５月　１日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/